

菊東学舎だより

令和3年7月号

15才の出口

—もっと課題を解決したいと考え、自ら行動する菊東学舎の子— (菊東中、六郷小、河城小)

「学びの庭」構想・小中一貫教育 菊東学舎がスタート!

7月5日(月)に「プラザきくる」で菊東学舎運営協議会を開催しました。自治会、コミュニティ協議会、社会教育委員、学校評議員、PTA代表の14名が参加し実施しました。初めに、本協議会委員長に社会教育委員の中寫るり子さんを選出しました。

その後、学舎コーディネーターから菊川市で目指している「学びの庭」構想・小中一貫教育について説明しました。続いて、菊川東中学校長が菊東学舎の目指す子ども像やこれからの取組を話しました。説明後の意見交換では、以下の意見が出されました。



菊東学舎運営協議会

説明後の意見交換で

- PDCAは、Plan (計画) Do (実践) Check (評価) Action (改善) の略。
- これまでの経験を生かして地域の子どもたちの成長に関わり貢献したい。
- 海外では、施設一体型の小中一貫教育がすでに行われている。
- 全く新しいものをやるのではなく、これまでやってきたことをやることに合点。目指す子ども像や取組についての成果をどのように評価するかは指標が必要。
- 兄弟姉妹が少なくなっているため、上の子が下の子を見る交流の機会を設けたい。
- 草が生い茂り通学路の道幅を狭くしているため危険。地区で対応してほしい。

菊東学舎全体研修会を開催

菊東学舎では、7月7日(水)に菊川東中学校区に勤務する全ての教職員を対象に全体研修会を行いました。この会は、学舎内に勤務する教職員が学舎の取組を共通理解することや、小学校と中学校、小学校と小学校の連携を密にするために実施しました。「学びの庭」構想・小中一貫教育と菊東学舎の目指す子ども像や具体的な取組についての説明後、グループごとに分かれて、楽しい雰囲気の中で、アイデアを出し合いました。



菊東学舎全体研修会

「学びの庭」構想・小中一貫教育とは?

中学校区を「一つの学び舎」として、子どもたちを地域の中で、地域の人や物、ことと関わらせながら学校と地域が連携して育てていく。(学校と地域社会のよこの連携) 保育園・幼稚園を含めた中学校を単位とした小学校、中学校の連携を強化し、9年間を見通した一貫性のある教育を行う。(小学校と中学校のたての接続)

ジュニア防災士取得を目指して!!

菊川東中3年生は、総合的な学習の時間に防災学習を行いました。5月21日は、県の危機管理課職員の方から速やかに避難するための日ごろの訓練の大切さ、南海トラフ地震発生で想定される被害や食料の備蓄の実施について話をいただきました。6月25日は、災害時判断ゲーム「クロスロード」を行い、災害時にどのように行動するのかの意見交換をしました。

「お年寄りのがれきの下敷きになっていたら、あなたは助けるか」「休み時間に地震が起きたら、みんなと一緒に逃げるか」などの問いに対して、理由を付けて自分の考えを言いました。生徒は、今後「ふじのくにジュニア防災士の資格を取り、地域防災で活躍することを目指します。



棚田『千框』の見学と田植え体験

河城小5年生は、学校周辺の田んぼで田植えをしました。河城地区JA遠州夢咲青年部の方の指導を受けながら苗を植えました。田んぼに入ると、横一列に並んで紐に合わせて丁寧に植えていきました。子どもたちは、水の冷たさを感じたり、土に足を取られたりしながらも一生懸命に田植えをしました。約2時間で植え終わりました。

また、地域探訪では、学区内の棚田『千框』に出かけ、NPO法人せんがまち棚田倶楽部の堀延弘さんから棚田に生息する動植物について教えていただきました。



手摘み体験と茶工場の見学

六郷小5年生は、6月10日に学区在住の原田博さんの茶園でお茶の手摘み体験しました。原田さんには毎年『お茶の学習』でお世話になっています。子どもたちは一芯二葉で摘み取ることを教わり、一本一本を丁寧に摘み取りました。また、茶工場の中も見せていただき、さまざまな機械を使ってお茶を製造していることを学びました。

